

2019(令和 1)年度
富士山エコレンジャー環境パトロール報告

2020(令和 2)年 6 月

富士山エコレンジャー連絡会

富士山憲章

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

富士山エコレンジャーを知っていますか

富士山の自然環境を保全する活動に賛同している団体の集まりである「ふじさんネットワーク」の会員であり、富士山にて自然環境保全に係る様々な活動をするボランティアです。

登山マナーの啓発

富士山の自然や動植物の解説

環境パトロール

富士山エコレンジャー 証明書

腕章

この腕章を見つけたら、ぜひ声を掛けてください。

活動報告

お願いします!

環境パトロールを通じて

「富士山を訪れる方に、

①自然環境への負荷を減らし

②安全に

富士山を利用してもらい、

富士山の現状を広く共有する」

ボランティア保全活動

表彰

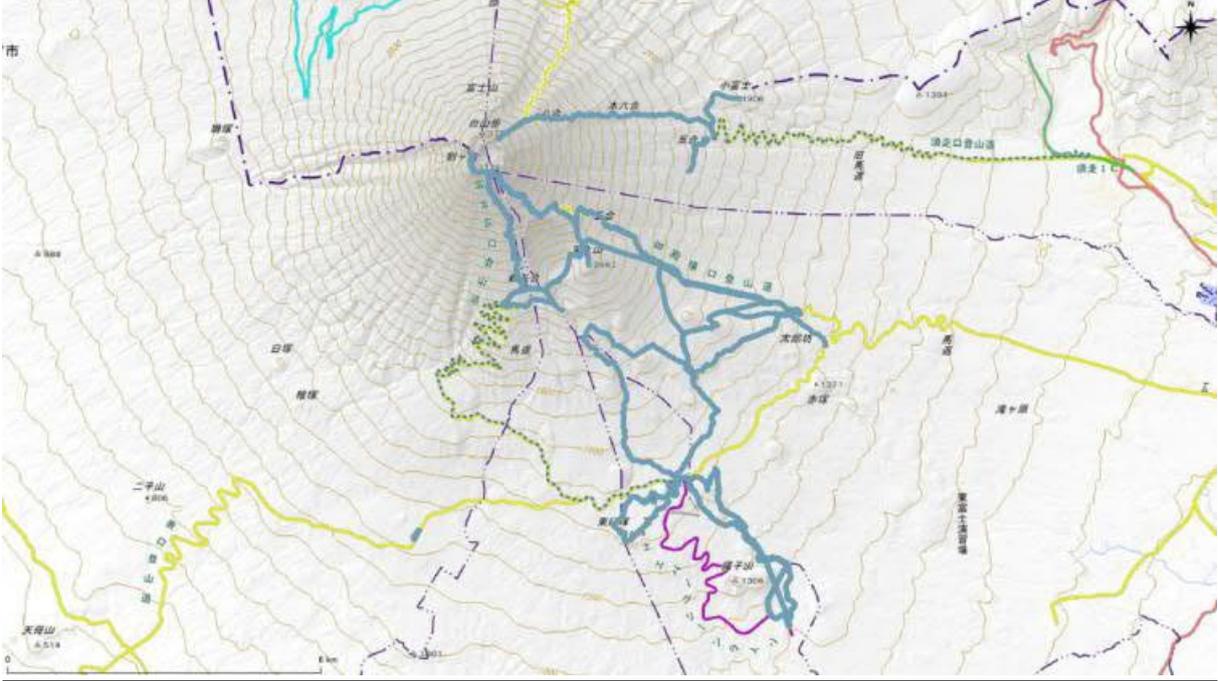
環境省「富士箱根伊豆国立公園指定 80 周年記念功労者」2016 年(平成 28 年)

(公財)日本自然保護協会「日本自然保護大賞」2017 年度、2019 年度入選

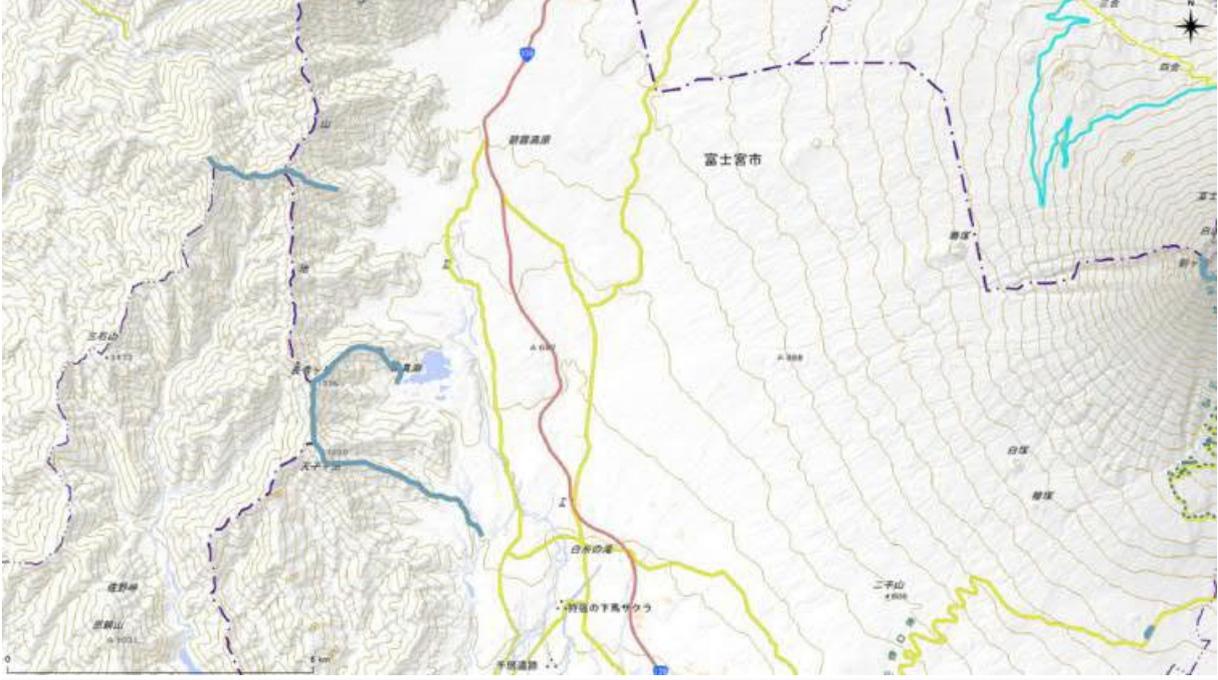
1.環境パトロール（平成31年4月～令和2年3月）

1-1 環境パトロール区域(図中青線部分)

富士山南麓



天子山系



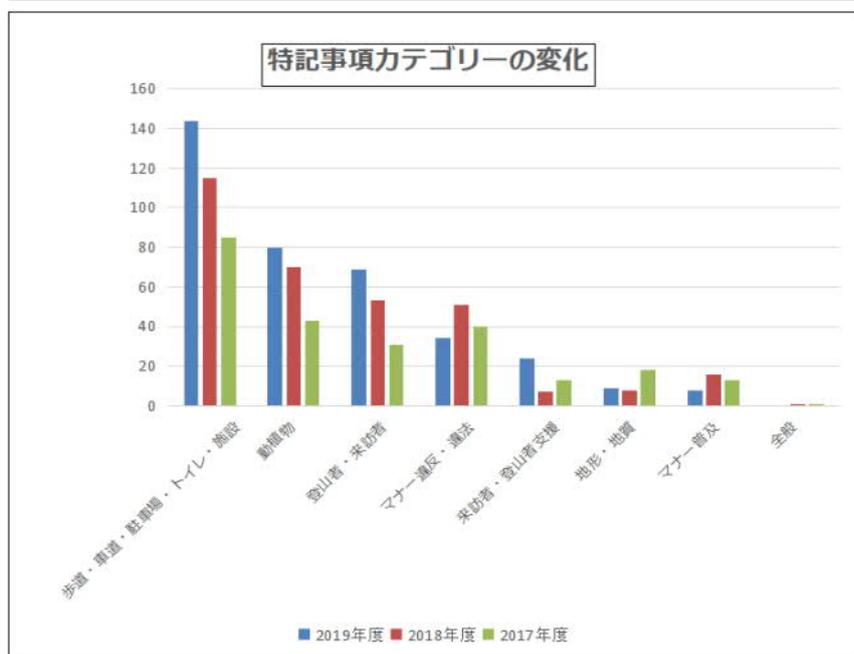
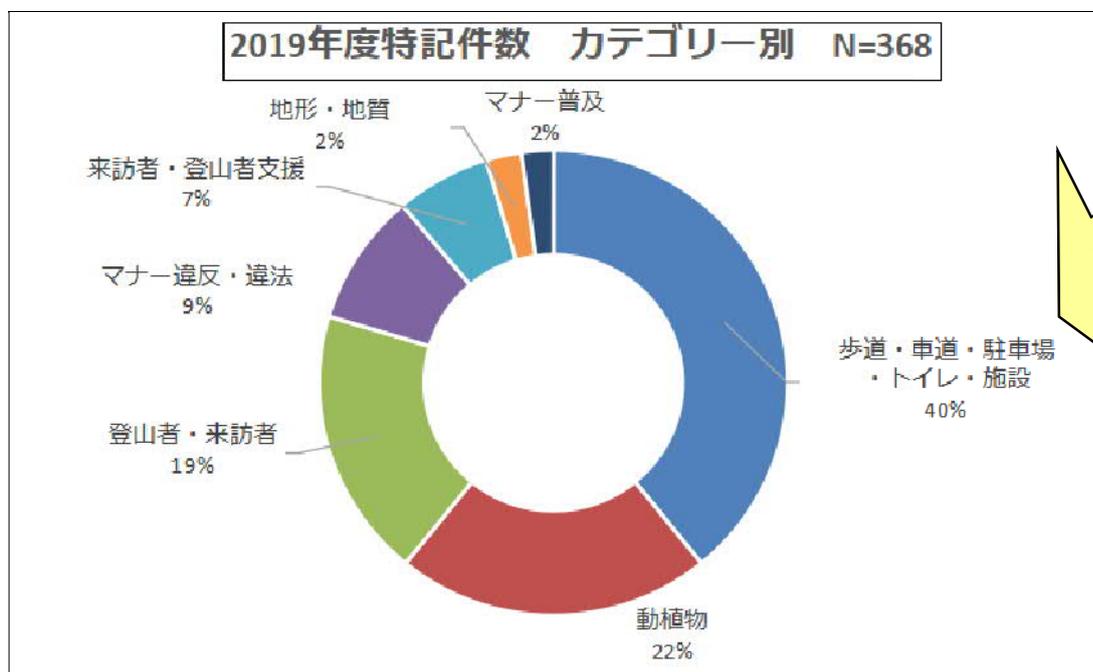
1-2 環境パトロール履歴

合： 合同環境パトロール、環： 環境パトロール、外： 外来植物防除活動、シ： シャトルバス活動、公： 公的支援活動

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| ①2019年4月20日 合 | 須山口登山歩道(水ヶ塚駐車場→御釜塚→黒塚→弁当場) |
| ②2019年5月10日 環 | 駐車場→天子ヶ岳登山口→天子ヶ岳→長者ヶ岳→駐車場 |
| ③2019年5月12日 環 | 熊森山東尾根→熊森山→五宗山 |
| ④2019年5月12日 環 | 御殿場口五合目→二ツ塚→小天狗塚→幕岩→御殿場口五合目 |
| ⑤2019年5月22日 環 | 富士宮口五合目、御殿場口五合目 |
| ⑥2019年5月25日 環 | 須走口五合目→幻の滝→須走口五合目 |
| ⑦2019年5月25日 合 | 御殿場口五合目→二ツ塚→四辻→幕岩→御殿場口五合目 |
| ⑧2019年5月31日 環 | 須走口「まぼろしの滝」、御殿場口五合目 |
| ⑨2019年6月9日 環 | 須山口登山歩道(水ヶ塚→弁当場) |
| ⑩2019年6月29日 環 | 須山口登山歩道(弁当場→黒塚→大調整池→弁当場) |
| ⑪2019年6月29日 外 | 富士山麓「山の村」、西臼塚駐車場 |
| ⑫2019年7月2日 環 | 富士宮口五合目→宝永火口→富士宮口五合目 |
| ⑬2019年7月9日 環 | 黒塚・フジバラ平、水ヶ塚公園 |
| ⑭2019年7月9日 外 | 西臼塚駐車場 |
| ⑮2019年7月20日 合 | 富士宮口五合目→八合目→富士宮口五合目 |
| ⑯2019年7月20日 シ | バス乗客 125名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ⑰2019年7月26日 外 | 西臼塚駐車場 |
| ⑱2019年7月29日 シ | バス乗客 109名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ⑲2019年7月31日 公 | 富士宮口五合目→宝永火口縁→樹林帯→富士宮口五合目 |
| ⑳2019年7月31日 シ | バス乗客 43名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉑2019年8月3日 合 | 須走口五合目→まぼろし滝→小富士→五合目 |
| ㉒2019年8月3日 シ | バス乗客 20名 須走口多目的広場→須走口五合目 |
| ㉓2019年8月3日 シ | バス乗客 216名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉔2019年8月4日 環 | 水ヶ塚駐車場、富士宮口五合目→宝永火口→五合目、御殿場口五合目 |
| ㉕2019年8月4日 シ | バス乗客 147名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉖2019年8月11日 環 | 富士宮口五合目→宝永山→富士宮口五合目 |
| ㉗2019年8月12日 シ | バス乗客 159名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉘2019年8月13日 環 | 水ヶ塚→御殿庭下→御殿庭上→三ツ辻→お胎内→水ヶ塚 |
| ㉙2019年8月17日 合 | 富士宮口五合目→宝永山→富士宮口五合目、宝永山→四ツ辻→水ヶ塚 |
| ㉚2019年8月17日 シ | バス乗客 208名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉛2019年8月17日 シ | バス乗客 40名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉜2019年8月25日 シ | バス乗客 149名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㉝2019年9月1日 環 | 御殿場口五合目→六合目→五合目 |
| ㉞2019年9月3日 環 | 富士宮口五合目→宝永火口→富士宮口五合目 |
| ㉟2019年9月6日 環 | 須走口五合目→山頂→須走口五合目 |
| ㊱2019年9月6日 外来 | 西臼塚駐車場 |
| ㊲2019年9月7日 合 | 御殿場口五合目→幕岩→二ツ塚→御殿場口五合目 |
| ㊳2019年9月7日 シ | バス乗客 159名 水ヶ塚→富士宮口五合目 |
| ㊴2019年9月10日 環 | 富士宮口→頂上大沢源頭→御殿場口→宝永火口→富士宮口 |
| ㊵2019年9月17日 外 | 西臼塚駐車場 |
| ㊶2019年10月6日 環 | 富士宮口五合目→八合目→宝永火口→富士宮口五合目 |
| ㊷2019年11月16日 合 | 水ヶ塚→御殿庭上→→水ヶ塚 |
| ㊸2020年1月18日 環 | 水ヶ塚周辺(旧東臼塚遊歩道) |
| ㊹2020年2月14日 環 | 須山口登山歩道(弁当場→黒塚→フジバラ平調整池→弁当場) |
| ㊺2020年2月15日 合 | 水ヶ塚→片蓋山→御釜塚→須山口登山歩道→水ヶ塚 |
| ㊻2020年2月24日 環 | 太郎坊洞門→二ツ塚(下塚)→太郎坊洞門 |

1-3 カテゴリー別報告内容

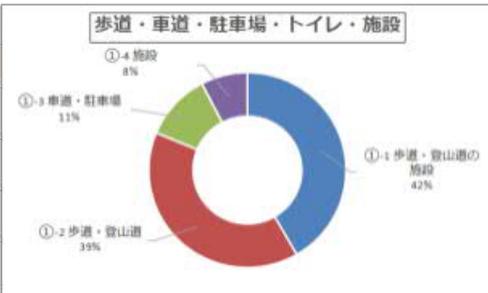
	カテゴリー	2019年度	2018年度	2017年度
①	歩道・車道・駐車場・トイレ・施設	144	115	85
②	動植物	80	70	43
③	登山者・来訪者	69	53	31
④	マナー違反・違法	34	51	40
⑤	来訪者・登山者支援	24	7	13
⑥	地形・地質	9	8	18
⑦	マナー普及	8	16	13
⑧	全般	0	1	1
	合計	368	321	244



環境パトロール中に、富士山エコレンジャーが「自然環境への負荷」や「来訪者の安全面」で気づいた内容を「特記事項」として環境パトロールの報告書に記載した。その「特記事項」を、カテゴリー別に集計した。

① 歩道、車道、駐車場、トイレ、施設

歩道・車道・駐車場・トイレ・施設		144
サブ・カテゴリー		件数
①-1	歩道・登山道の施設	60
①-2	歩道・登山道	57
①-3	車道・駐車場	16
①-4	施設	11



①-1 歩道・登山道の関連施設 (太字は数年報告された特記事項、カッコ内英字は休養林コース)

- ・黒塚の丸太階段は流出し、丸太材が腐朽し、不安定で危険(4、6、2月、須山口、写1)
- ・御殿場口五合目近くの案内標識2箇所にて破損脱落・変形(5月、御殿場口)
- ・切り立った崖のガイドロープとその鉄製支柱、注意テープが損傷(7月、宝永火口縁G、写2)
- ・自然休養林の標準案内標識と歩道保存会の案内標識が併設(7月、宝永火口縁G)
- ・落石危険地帯にテーブル、椅子を設置した休憩場所(7、8、9月、宝永第一火口、写3)
- ・外来植物防除マット設置個所の案内看板がなくなっていた(7、8月富士宮口五合目)
- ・毎年、石で支えた道標が支柱ごと倒れる(8月、宝永火口縁G、写4)
- ・種子を落とさず通過するだけの外来種防除マット(7、8月、富士宮口、須走口、写5)
- ・マーキング・テープで誘導され、植生損傷や複線化を助長(8、11月、須山口DEF、写6)
- ・自然休養林の標準標識脇の岩に、新しいペイント・マーキング(8月、須走口M、写7)
- ・岩に地名や矢印をペンキで記入した箇所がある(8月、宝永火口周辺)
- ・標識が倒れ、判読できない。ガイドロープも損傷(8月、宝永火口、宝永山、写8)
- ・「まぼろしの滝」への標識があるが、第三駐車には「通行禁止」の看板(8月、須走口M)
- ・来訪者は「テープはあるが踏み跡が多く分かりにくい」と困っていた(8、11月、須山口D)
- ・管理者名や行き先の表示がない私的なマーキングが相当数見られた(8、11月、須山口)
- ・標識や地図で「御殿庭上」の地名が異なる場所に重複表示されている(8月、宝永第三火口)
- ・迷いやすい大砂走り・宝永山の分岐で、標識の文字が見えない(8月、宝永山、写9)
- ・下山時に、標識を見ず放送も聞き逃すと、須走口に進んでしまう(9月、須走口八合目、写10)
- ・本七合目からの下山道の標識はなく、登山者が下山道を次々に登ってきた。(9月、須走口)
- ・幕岩の案内板のところまで来て、どこが幕岩かわからない来訪者がいた(9月、幕岩I)
- ・銀明水に標準以外の標識が、未だに設置されている(9月、山頂御殿場口)
- ・ガイド用のロープ杭が倒れたところが2ヶ所あった(11月、須山口D)
- ・宝永第三火口の標準標識が壊れていた(11月、宝永火口H、写11)
- ・不安定な丸太階段の歩道へと誘導する標識があった(2月、須山口)
- ・崩落歩道の迂回路にある丸太階段は歩き辛く、歩道複線化が見られた(2月、須山口)



(写1、丸太階段は流出、黒塚)



(写2、崖沿いのガイドロープ破損、宝永火口縁G)



(写 3、落石危険のベンチ利用者、宝永火口)



(写 4、毎年倒れる道標、宝永火口縁 G)



(写 5、素通りの外来種防除マット、須走口)



(写 6、歩道を外れ植生へのテープ誘導、須山口 D)



(写 7、岩に直接ペイント、須走口 M)



(写 8、摩耗して読めない注意標識、宝永火口)



(写 9、見えない標識、宝永山)



(写 10、間違いやすい分岐、須走口)



(写 11、表示板破損、宝永火口)

①-2 歩道・登山道

- ・大規模トレイルラン・レース利用の歩道は、侵食、荒廃が進む (4、6、2月、須山口、写 12)
- ・御釜塚北東の崩落崖上の狭い歩道は通過に不安定な場所がある(4、6、2月、須山口、写 13)
- ・比較的緩斜面の歩道でミズミチ化が進み、ガリー侵食になるおそれがある(4、2月、須山口)
- ・天子ヶ岳登り道は年々根のむき出しが深くなっている(5月、天子ヶ岳)

- ・天子ヶ岳からの下り道は浸食が深く、夜、走行すると転倒の危険性が高い(5月、天子ヶ岳)
- ・長者ヶ岳から熊森山へ向かう歩道は下へ向かうにしたがって拡幅が目立った(5月、天子ヶ岳)
- ・大規模トレイルラン・レース後、植生に踏み跡や複線化やえぐれが多い(5月、熊森山、写14)
- ・スキー場跡の残骸コンクリートやケーブルが残置され、転倒の恐れ(8月、御殿場口I、写15)
- ・遊歩道は複線化・拡幅が数多く散見された(5、8、9月、御殿場口I、写16)
- ・クロスカントリーコースと遊歩道の交差箇所が多く、衝突の危険あり(7、8月、水ヶ塚)
- ・クロスカントリーコースではチップ材が流出し、侵食がはじまった(7、8、2月、水ヶ塚)
- ・日沢西側の傾斜地歩道が多重複線化し、植生損傷が目立つ(7、8月、宝永火口縁G、写17)
- ・崩れやすい斜面上の歩道は複線化などの荒廃箇所が集中的に見られた(8月、須走口M、写18)
- ・遊歩道は倒木や根がむき出しで、つまずきやすく危険(8月、須走口J、写19)
- ・歩道が通行できなくなるほど侵食し荒廃していた(8、11月、須山口D、E、写20)
- ・走行が加わり、通過困難箇所を避け、植生に多数の踏み跡(8、11月、須山口D、E、写21)
- ・急斜面で薄い土壌が流れ礫が露出し、崩れやすく歩道の拡幅や複線化(8月、休養林H、写22)
- ・レースで植生を直線状に通過後、世界遺産の歩道は植生に多重複線化(8月・幕岩F、写23)
- ・「走ろう」とネット紹介された世界遺産の歩道は、直線的に複線化(8月、御胎内F、写24)
- ・自然休養林の歩道は、倒木が2か所で道を塞いでいた(8月、お胎内～水ヶ塚駐車場E)
- ・度重なる改修にも関わらず歩道が荒廃(9月、御殿場口幕岩I、写25)
- ・標識はあるが岩の歩道で、どこを歩けば良いのか分かりにくい(9月、プリンスルート)
- ・急傾斜地の歩道は、侵食と来訪者の踏圧によって複線化や拡幅が起きている(8月、幕岩I)
- ・頂上直下の渋滞を起こす歩道段差(約1m)部分は、改善工事されない(9月、富士宮口)
- ・剣ヶ峰への急坂、馬の背のお鉢めぐり歩道も、かつて無いほど侵食(9月、山頂、写26)
- ・1合5勺から2合の登山道に樹木が倒れ、道を崩す恐れがある(11月、須山口D)
- ・御殿庭中から御殿庭上への歩道が非常にわかりにくい(11月、御殿庭)
- ・腰切塚麓のクロカントリーコースでは表面の凸凹や、侵食部分からチップが流出(2月、水ヶ塚)



(写12、トレイルラン・レース後の歩道荒廃、須山口) (写13、崩壊崖状の不安定な歩道、須山口)



(写14、雨天時に度々行われる大規模トレイルラン・レース後の植生損傷、熊森山)



(写 15、残置ケーブルで転倒の恐れ、御殿場口 I)



(写 16、複線化・拡幅・植生損傷、御殿場口 I)



(写 17、歩道多重複線化、植生損傷、宝永火口縁 G)



(写 18、集中的な複線化、拡幅、須走口 M)



(写 19、つまづきやすい根露出、須走口 J)



(写 20、通行困難な歩道の侵食荒廃、須山口 D)



(写 21、植生内に多数の踏み跡、須山口 D)



(写 22、礫層の露出、複線化、休養林 H)



(写 23、世界遺産歩道の複線化、幕岩 F)



(写真 24、植生に直線的な踏み跡、御胎内 F)



(写 25、度重なる改修も荒廃、御殿場口 I)



(写 26、馬の背歩道は激しい侵食、山頂剣ヶ峰)

①-3 車道・駐車場

- ・五合目ブルドーザ置き場の東側の侵食がすすむ(7月、富士宮口五合目、写 27)
- ・第三駐車場はマラソン大会で自衛隊車両と一般車両で身動き取れず(7月、御殿場口五合目)
- ・水ヶ塚公園外の道路脇に駐車。アジア系外国人来訪者が多い。午後(8月、水ヶ塚)
- ・第一駐車場は空いているのに、他の駐車場大混雑(9月、御殿場口新五合目、写 28)



(写 27、ブルドーザ置き場の侵食、富士宮口)



(写 28、空いている第一駐車場、御殿場口)

①-4 施設

- ・五合目駐車場付近の車両止めのバリカーは曲がったまま(5月、御殿場口)
- ・五合目に携帯トイレ回収ボックスがあるが、五合目～七合目間は物陰がないルート。携帯トイレを使う場合は大変(9月、御殿場口)
- ・御殿場市へ携帯トイレの現地発売をお願いしているが、トレイルステーションでは、今年も携帯トイレを販売している様子はない(9月、御殿場口)
- ・毎年報告している「ニツ塚下塚山頂の崩壊が進む記念碑」、「大石茶屋西側の残置タイヤ群」、「五合目駐車場の眺望遺産表示協の営業看板」は、そのまま(9月、御殿場口、写 29)
- ・旧測候所北側の展望台が9年間立ち入り禁止になったまま。西の展望なし(9月、山頂、写 30)



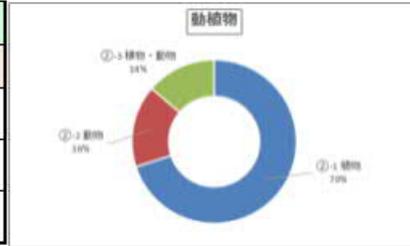
(写 29、残置されたタイヤ群、御殿場口)



(写 30、最高地点の展望台9年間立ち入り禁止、山頂)

② 動植物

動植物		80
サブ・カテゴリー		件数
②-1	植物	56
②-2	動物	13
②-3	植物・動物	11



②-1 植物

- ・スズタケが枯れ、林内のどこにでも入りこめる(4, 6, 2月、須山口、休養林 DFE、写 31)
- ・歩道沿いに倒木の恐れがある枯れ木が多い(4, 6, 11, 2月、須山口、休養林 DFE、写 32)
- ・外来植物ハルザキヤマガラシが大調整池やフジバラ平に群生(4, 6, 2月、須山口、写 33)
- ・日当たりの良い石垣下に外来植物ハルザキヤマガラシの群生(2月、片蓋山広場)
- ・レース後、たくさんの木の根が露出し損傷している場所が複数あった(5月、熊森山)
- ・レース前はササの間を歩いが、利用後は拡がりササが体に触ることはない(5月、熊森山)
- ・希少な植物(環境省絶滅危惧 I B 類 EN)を確認した歩道をレース主催者改修(6, 7月、須山口)
- ・外来植物シラゲガヤが多数。駆除講習を受け除去(6月、西臼塚駐車場、写 34)
- ・外来植物セイヨウタンポポ、エゾノギシギシ、ヒメジヨ、カモガヤ、ナギナタガヤなど多数確認(7, 9月、西臼塚駐車場、写 35、36、37、38、図)
- ・外来植物のヒメジヨやシラゲガヤが駐車場や林道の縁に多数生息(7月、西臼塚周辺)
- ・斜面上の歩道周辺に樹木根損傷などが集中的にみられた(8月、須走口 M、休養林 DH)
- ・歩道沿いの樹木(コメツガ)の根損傷が目立った(8月、須走口 J)
- ・火山荒原でヤマホタルブクロが群生していた。一部オフロードバイクで損傷(8月、須走口 J)
- ・樹木の枝に古いビニール・マーキングがほつれてからみついていた(8月、休養林 DH)
- ・1.5 合休憩ベンチ周辺には、移入植物のオオバコが多数生息していた(8月、休養林 D)
- ・昨年と比較して、樹木根の踏みつけなど植生損傷が目立った(9月、御殿場口 I)
- ・樹林帯では、移入種のオオバコ群生(5, 9月御殿場口 I コース、写 39)
- ・お鉢めぐりでコタヌキラン、イワノガリヤスなどの維管束植物を多数(9月、山頂、写 40)
- ・剣ヶ峰旧測候所周辺のコケ群落が枯れている(9月、山頂、写 41)
- ・御殿場口頂上・富士宮頂上間のコケ類の多くは衰退(枯れ)していない(9月、山頂、写 42)
山頂部剣ヶ峰のコケ類衰退については 15 ページの囲み記事参照
- ・コース脇のアセビの枝がタイヤに踏みつけられ損傷している(1月、水ヶ塚)



(写 31、スズタケが枯れ、入りこめる、休養林 D)



(写 32、倒壊のおそれがある枯れ木、須山口)



(写 33、外来植物ハルザキヤマガラシ、須山口)



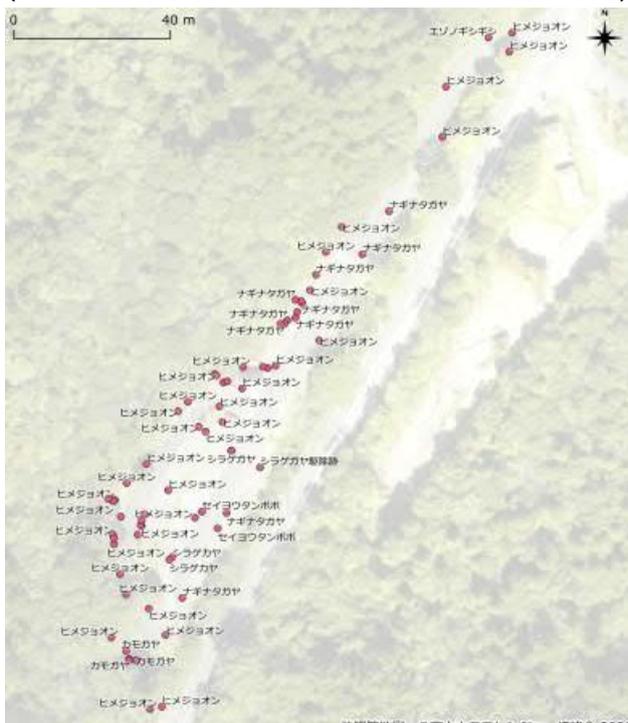
(写 34、外来植物シラケガヤ、西臼塚駐車場)



(写 35、外来植物セイウタンポポ、西臼塚駐車場)



(写 36、外来植物ヒメシオン、西臼塚駐車場)



(図 7月、外来植物生息状況、西臼塚西側駐車場)



(写 37、外来植物エゾノギシギシ、西臼塚駐車



(写 38、外来植物ナギナタガヤ、西臼塚駐車場)



(写 39、移入種オオバコ群生、幕岩 I)



(写 40、維管束植物イワノガリヤス移入、山頂)

剣ヶ峰旧測候所北東側のコケ類の枯れ

富士山頂のコケ類は、静岡大学の増沢先生によって「永久凍土が育てる小さな『森』」として美しい写真とともに紹介され(富士山2005、山と渓谷)、山頂にも緑豊かな「森」があることが知られるようになった。冬の低温、強風、乾燥した極限の世界でも生息するその強靱な生命力に感動する。永久凍土が育てるコケの群落は、長い時間をかけて頂上にたどり着いた来訪者へ最高の恵だ。

また、剣ヶ峰周辺では、南極でよく見られるコケとラン藻の共生などが観察され、富士山頂は南極と同じような環境が存在する特別な場所だ。富士山の概ね標高2,500m以上は、国立公園内でも厳正な保護を図るエリアである「特別保護地区」に指定されている。

保護に特別な注意が払われている山頂の極限環境に生育するコケ類に2005年から注目している。とりわけ、剣ヶ峰の旧測候所の北東側では、旧測候所の夏期利用が行われて以降、周辺のコケ群落にゴミクズが付着していたり、枯れが進み、被植が減ってきたように思う。一方、御殿場口頂上付近のコケ類は元気で枯れは目立たない。



2005年7月2日



2006年7月8日



2007年9月1日



2008年7月5日



2009年8月17日



2010年7月20日



2011年9月28日



2012年8月22日



2013年9月18日



2014年10月8日



2017年9月24日



写41, 2019年9月10日



写42、御殿場口の元気な



コケ類2019年9月10日

②-2 動物

- ・糞や樹皮はぎなど二ホンジカの痕跡が多かった(5、1、2月、須山口、東臼塚、写 43)
- ・およそ数百のモリアオガエルの卵塊がみられた(6月、須山口)
- ・二ホンジカ以外のノウサギ、イノシシなどの糞があった(8月、須走口)
- ・採食中の二ホンジカをみた(8月、宝永第三火口)
- ・シカ糞は大調整池東側や片蓋山の日当たりのいい場所に多い(2月、須山口)
- ・記録された野生動物の殆どは二ホンジカ、6月～1月、水ヶ塚周辺、写 44)
- ・シカミチは御釜塚や旧ゴルフ場、スキー場急斜面に多く侵食している(2月、須山口、写 45)
- ・大調整池東側でヘビ類の抜け殻をみた(2月、須山口)



(写 43、二ホンジカの糞、片蓋山)(写 44、二ホンジカ、水ヶ塚)

(写 45、シカミチ、須山口)

②-3 動植物

- ・カラマツの樹皮はぎが多く見られた(8、9月、三ツ辻・幕岩上、四辻・二ツ塚分岐、写 46)
- ・イケマが多く見られ、幼虫を2種類確認した(9月、御殿場口 I)
- ・過去に樹皮はぎされ、わずかに残った樹皮をさらに食している(2月、須山口、写 47)
- ・ミツマタの樹皮はぎや枝先の採食が目立った(2月、須山口)
- ・人工林ではヒノキの樹皮はぎが多い(2月、須山口、写 48)



(写 46、カラマツの樹皮はぎ、休養林 H)



(写 47、残った樹皮も採食キハダ、須山口)

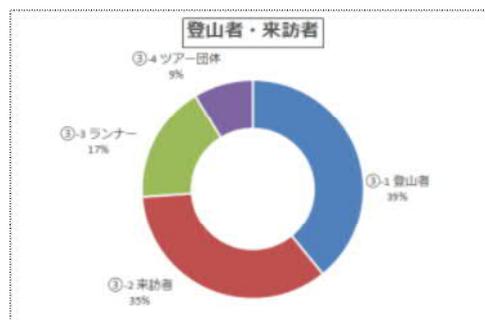
生態系への影響を考慮した二ホンジカの適正密度は3～5頭/km²程度といわれている。一方、静岡県が調査した富士山国有林の二ホンジカ推定生息密度(平成25年度～27年度調査)は、62頭/km²。「シャープシューティング」や「くり罠」など使った個体数管理が行われているにもかかわらず、環境パトロールで、「痕跡」に出会う機会が多い。



(写 48、ヒノキの樹皮はぎ、片蓋山)

③ 登山者・来訪者

登山者・来訪者		69
サブ・カテゴリー		件数
③-1	登山者	27
③-2	来訪者	24
③-3	ランナー	12
③-4	ツアー団体	6



③-1 登山者

- ・閉山期でも「雪のあるところまで」と富士山上部へ向かう登山者(5月、御殿場口)
- ・登山者は少ないが、六合目の通行止をすり抜ける登山者がいた(7月閉山期、富士宮口)
- ・土曜日で天候もよかったことから、早朝からたくさん登山者が訪れた(8月、富士宮口)
- ・早朝登山者はほぼ全員が日帰り登山。8時を過ぎると山小屋宿泊者が3割程度(8月、水ヶ塚)
- ・六合目から宝永第一火口に行く途中、登山客は激減(8月、富士宮口)
- ・六合目から宝永第一火口までの登山道は混雑し、大渋滞(8月、富士宮口)
- ・外国人の男女とも軽装が非常に目についた(8月、富士宮口)
- ・8月最後の日曜日にもかかわらず、登山者数は先週末よりも少なめであった(8月、富士宮口)
- ・天気が良い週末のため、登山者が大勢いた(9月、御殿場口)
- ・午前7時過ぎに歩き出したが、下山してくる人を多く見かけた(9月、御殿場口)
- ・閉山日が近く天気もよく吉田口と合流する8合目からは賑わっていた。(9月、須走口)
- ・午前6時半頃歩き出したが、下山してくる人を多く見かけた(9月、須走口)
- ・最後の週末で天気予報もよく、早朝から非常に多くの登山者(9月、富士宮口)
- ・天候が良く最終日で平日にも関わらず、登山者は登り降り約300名(9月、富士宮口)
- ・ヘルメットを着用または持参した来訪者は10名程度と出会った人の数%(9月、富士宮口)
- ・登山道を外れて歩く外国の女性2人組に出会った(11月、須山口D)
- ・山頂への登山道が閉鎖され、宝永火口縁まで、この登山道を利用する人(11月、須山口D)

③-2 来訪者

- ・来訪者は、佐折から天子・長者ヶ岳の3名と長者ヶ岳での2名(5月、天子山系)
- ・外国人(アジア系)の姿が非常に多い(5月、富士宮口)
- ・時計回りの来訪者が多く、樹林帯では多数の来訪者とすれ違った(5月、御殿場口I)
- ・滝付近と思われる場所にはたくさんの来訪者がいた(5月、須走口M)
- ・外来種防除マットで、立ち止まって靴の泥を落とす人は、ほぼいない(7月、富士宮口)
- ・「まぼろしの滝コース」で来訪者に出会わなかった(8月、須走口J)
- ・「落石注意」の表示だが、ヘルメット着用の来訪者は私達以外無し(8月、宝永火口、写49)
- ・最後の週末で、小さな子供を始め家族連れが多く訪れていた(9月、御殿場口)
- ・水ヶ塚公園には、雪あそびを楽しむ家族連れを中心に来訪者が多かった(1月、水ヶ塚)
- ・足跡がたくさんあり、来訪者が多いことが分かった(2月、太郎坊洞門)
- ・西側のスペースには10台、東側の路肩に1台とまっていた(2月、太郎坊洞門)

③-3 ランナー

- ・下塚で水ヶ塚からのランナー 1 名と自然環境保護・保全等を会話 (5 月、御殿場口 I)
- ・「クロスカン・コースと腰切塚歩道を使い低酸素トレーニング」ネット投稿(7 月、水ヶ塚)
- ・自然休養林の「御殿場口五合目から幕岩区間」で、159 人 338 回のタイム・トライアルが行われ、SNS に記録されている(3 月、御殿場口)
- ・自然休養林の「水ヶ塚公園・須山口登山歩道 1.5 合目区間」で、103 人 140 回のタイム・トライアルが行われ、SNS に記録されている(3 月、水ヶ塚)
- ・富士宮口 356 人 431 回、御殿場口 297 人 419 回、須走口 147 人 166 回のタイム・トライアルが行われ、SNS に記録されている(3 月)
- ・トレイル・ランナーを 4 人見かけた(7 月、富士宮口)
- ・山頂往復を済ませたトレイルランナー 2 人と富士山の自然環境を会話した(8 月、須走口)
- ・**天気が良い週末のためか、トレラン姿の人も多かった**(9 月、御殿場口)
- ・ハイキング・コースで出会ったトレイルランナーは 10 人程度(9 月、御殿場口 I)
- ・6 合目で休憩していると、トレランの人たちが下山してきた(9 月、御殿場口)

③-4 ツアー団体

- ・ヘルメットを装着した集団(高校生)に出会う(8 月、富士宮口)
- ・**宝永山方面へ向かう団体ツアーも多かった**(8 月、富士宮口宝永山、写 50)
- ・幕岩から四辻にかけて小学生の大グループとすれ違う(8 月、御殿場口 I)
- ・中学校の校外学習で大勢で来ている学校もあった(9 月、御殿場口 I)



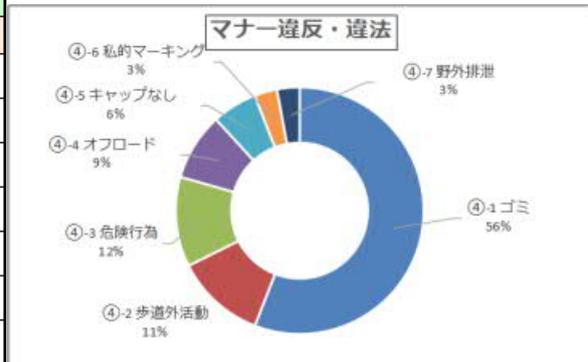
(写 49、ヘルメットが珍しく記念撮影、宝永山)



(写 50、団体ツアーが多い宝永山)

④ マナー違反、違法

マナー違反・違法		34
サブ・カテゴリー		件数
④-1	ゴミ	19
④-2	歩道外活動	4
④-3	危険行為	4
④-4	オフロード	3
④-5	キャップなし	2
④-6	私的マーキング	1
④-7	野外排泄	1



④-1 ゴミ

- ・ 来訪者が利用しないフジバラ平の南側に大量のゴミ(4、6、7、2月、須山口、写51)
- ・ 五合目駐車場からレストハウス屋上まで行く途中の「吸い殻」の多いこと(8月、富士宮口)



(2019年度ゴミ回収)

(写51、フジバラ平調整池南岸のゴミ、須山口)

④-2 歩道外活動

- ・ 登山道を外れて休憩する登山者(8月、富士宮口)
- ・ 宝永山に登る途中で正規の登山道ではない所を歩く人がいた(8月、宝永山、写52)
- ・ 登山道、下山道以外を下る人がいた(9月、御殿場口)
- ・ 6合目からブルドーザーの道を登山する人3名。下山してくる人2名(10月、富士宮口)

④-3 危険行為

- ・ 幕岩でドローンを飛行させていた人あり、我々を見て早々に引き上げた(5月、御殿場口 I)
- ・ 外国人が携帯電話を操作しながら登山していた(8月、富士宮口)
- ・ 東屋側の駐車場最奥で、焚火跡が3か所あった(9月、西臼塚)
- ・ 子供が歩いているのに、複数台の車が速度を上げ危険な雪上走行(1月、水ヶ塚駐車場)

④-4 オフロード

- ・ 小富士東尾根の火山荒原でオフロード・バイクの轍が植生を損傷(8月、須走口、写53)
- ・ 上塚のオフロード車が走った跡は、大きな筋として残っている(8、9月、御殿場口)

④-5 ストックのキャップなし

- ・ レンタル用のストックにキャップが無かった(8月、富士宮口)
- ・ レンタルストックをみると、キャップ無だった(9月、御殿場口、写54)

④-6 その他

- ・「裾野市最高地点」と書かれた私的標示が針金で巻き付けられている(11月、休養林D)
- ・野外排泄が閉山前に終了した山小屋のトイレ付近やの旧小屋跡に散在(9月、御殿場口、写55)



(写52、登山道、下山道以外を下る人、御殿場口) (写53、火山高原植生にオフロード車痕、須走口)



(写54、キャップ無レンタルストック、御殿場口) (写55、営業終了の山小屋に野外排泄、御殿場口)

⑤ 来訪者・登山者支援

- ・シャトルバス11回、乗客1,375名へ安全登山の説明。多くの乗客から「聞いてよかった」との反応があった(7、8、9月、富士宮口、須走口、写56)
- ・落石多発する宝永第一火口内の休憩は安全上懸念があり計画再検討をお願い(7月、富士宮口)
- ・三島市環境探偵団グループへ富士山の自然を解説し環境保全をお願い(7月、富士宮口、写57)
- ・五合目駐車場でうずくまっていた外国人に声をかけ、水を提供(8月、富士宮口)
- ・火口壁に背を向けている来訪者に「落石が多発する場所で危険」と伝えた(8月、富士宮口)
- ・登山者の子供の金剛杖にひびが入っており、父親に補強する様促した(8月、富士宮口)
- ・山頂を目指す2人連れに、「風が強いので気を付けよう」と伝えた(9月、御殿場口)
- ・道が分かっていない二人連れにルートを伝え、登山道に進むことができた(9月、御殿場口)
- ・若い女性の2人連れに地図を渡し、スマホで現在地を示して道筋を説明した(11月、休養林D)



(写56、シャトルバスで安全登山の解説、富士宮口) (写57、小学生グループへ自然解説、富士宮口)

⑥登山道周辺の地形・地質変化

- ・崩落した斜面では 地層がむき出し礫が時折「ザッ」と崩落(4、2月、須山口、写 58)
- ・幕岩下(南)の崖の崩壊斜面は、樹木が根こそぎ崩れ落ち縁が後退(5、9月、御殿場口I、写 59)
- ・まぼろしの滝下部は、浸食が大きく進んでいた(8月、須走口M)
- ・剣ヶ峰周辺では、火口方向のお鉢めぐり歩道へ大岩の崩壊が続いている(9月、頂上)
- ・歩道の下がエグレ始めている(注意のダイガー・ロープが設置されている)(2月、須山口)
- ・水源地周辺でも、大小の崩落、侵食が見られる(2月、須山口)



(写 58、歩道下の崩壊崖崩落進む、須山口)



(写 59、幕岩下流の砂沢右岸の崩落拡大)

⑦マナー普及

- ・シャトルバスで外来植物防除マットなど自然環境マナーをお願い(7、8月、富士宮口、写 60)
- ・シャトルバス乗り場で来訪者の方々にマナー本を渡した(8月、須走口)
- ・小学生連れに「ゴミを捨てない」、「登山道から外れて歩かない」とお願い(8月、富士宮口)
- ・ガイドブックを家族連れの方に配布し、親御さんからの感謝の言葉(8月、富士宮口)
- ・来訪者に「外来種防除マットを使用してください」とお願い(8月、富士宮口、写 61)
- ・「ストックのゴムキャップをつけるように」とお願いした(8月、富士宮口)



(写 60、植生保全の説明とお願い、富士宮口)

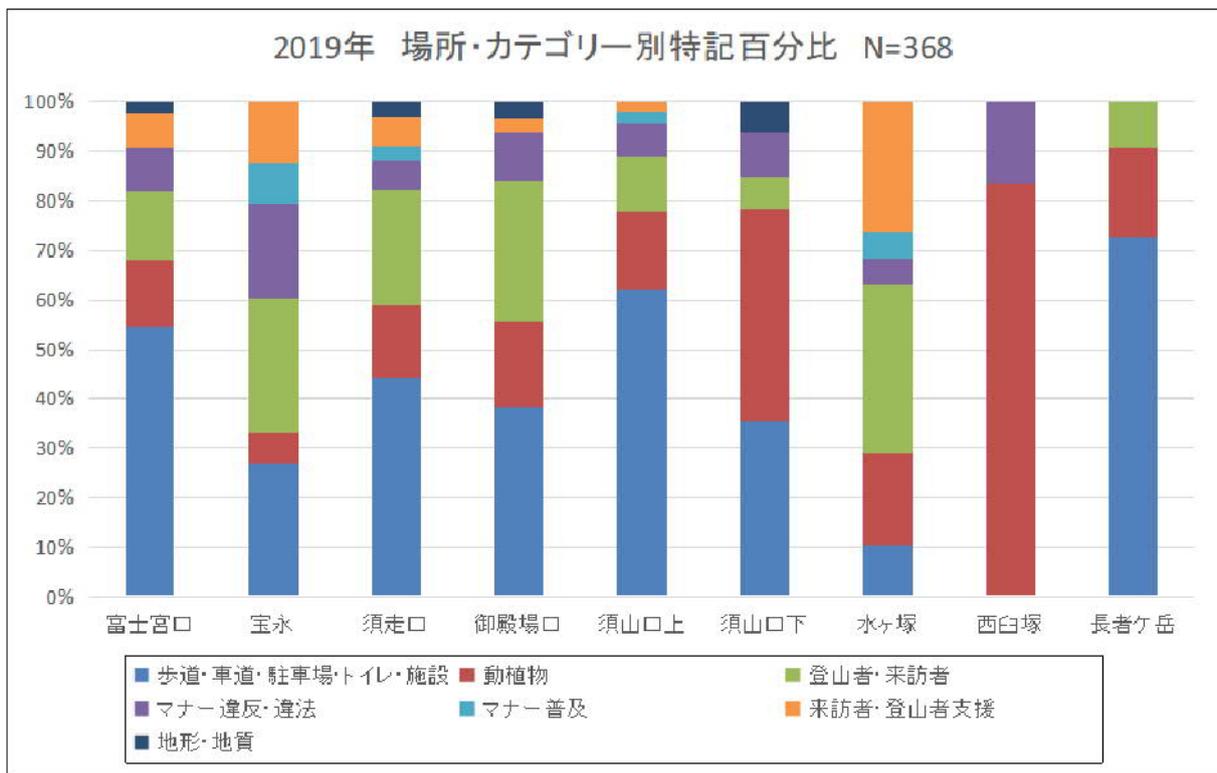
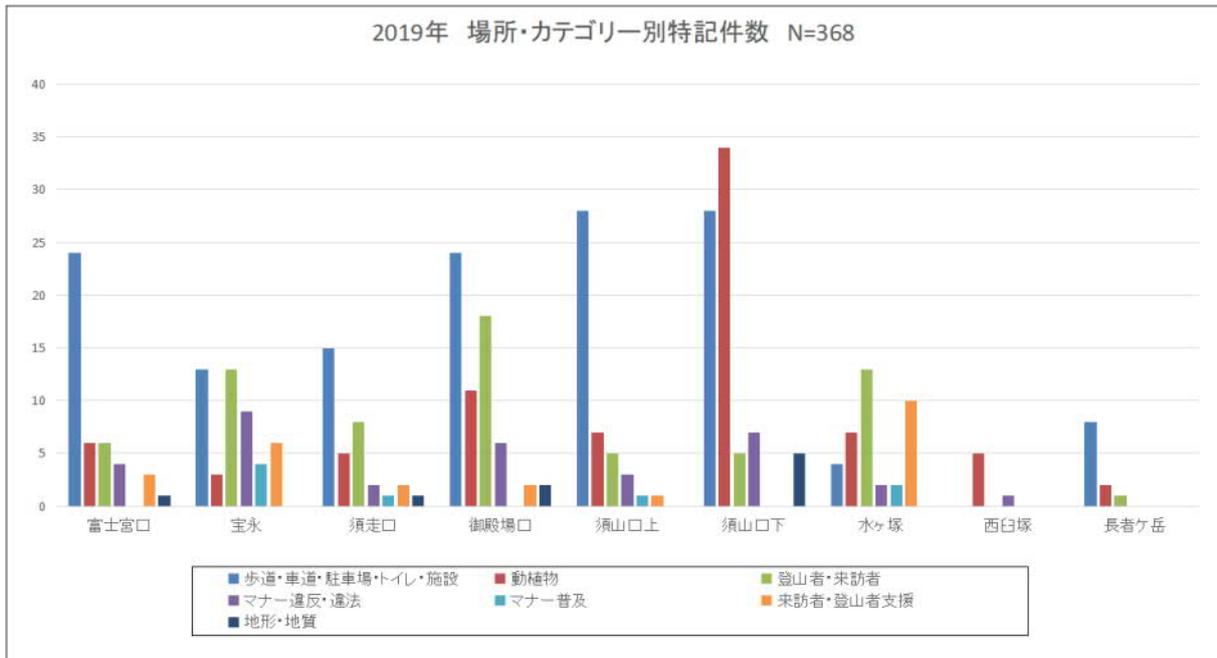


(写 61、「外来種防除のお願い、富士宮口)



従来から、来訪者へ「ストックの尖った先端は登山道を傷め、崩落につながったり、周囲の人への凶器となり、樹林帯では歩道脇の植生を傷つけかねない。先端にはキャップを」とお願いし、ゴミとして回収したキャップを差し上げ、喜ばれている。(左の写真は2017年9月、御殿場口)

1-4 場所別特記事項



場所	歩道・車道・駐車場・トイレ・施設	動物植物	登山者・来訪者	マナー違反・違法	マナー普及	来訪者・登山者支援	地形・地質	計
富士宮口	24	6	6	4	0	3	1	44
宝永	13	3	13	9	4	6	0	48
須走口	15	5	8	2	1	2	1	34
御殿場口	24	11	18	6	0	2	2	63
須山口上	28	7	5	3	1	1	0	45
須山口下	28	34	5	7	0	5	0	79
水ヶ塚	4	7	13	2	2	10	0	38
西白塚	0	5	0	1	0	0	0	6
長者ヶ岳	8	2	1	0	0	0	0	11
	144	80	69	34	8	24	9	368